

農協だより

2021. 7月
No.601

たいき



第73回JA大樹町
通常総会
2ページ

青年部
食育事業
4ページ



女性部花壇整備
5ページ

269名(委任・書面含む)出席し全10議案可決承認!

第73回通常総会開催



あいさつする
JA大樹町坂井組合長

5月28日、JA大会議室において、第73回通常総会が開催された。

総会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、来賓者の出席依頼を控え、少人数による開催となり、正組合員284名の内、本人出席14名、書面議決を合わせて269名の出席となった。

総会に先立ち行われる農業功労者の授賞式は、新型コロナウイルスの影響により常勤が巡回し、感謝状と記念品を贈呈した。

本総会にあたり、坂井組合長は「まずは本年の総会については通常での総会の開催を進めて参りましたが、5月連

休明け以降、新型コロナウイルス感染症が札幌を中心に全道での広まりを受け、第2回目の緊急事態宣言が発令されました。今年は昨年に引き続きの書面議決を中心とした総会とさせて頂きます。改めてご理解のほど宜しくお願いします。通常であれば多くの組合員の皆様方、そして町内外の皆様方、関係機関の皆様方のご立席を賜りながら開催している所ではございましたが、このような形で開催となります。ご理解ください。

さて、昨年の農業を振り返ってみますと春先、3月の大雪によつて多少作業は遅れましたが、酪農、畜産、畑作等概ね良好な年となりました。酪農においては、良質な粗飼料の収穫により、生乳生産において前年対比4.5%増の116,711tと過去最高を記録することが出来ました。また、個体相場においても依

然として高値安定の傾向が続き、肉牛市場は新型コロナウイルスの影響を受け近年の価格を若干下回るといふ成績になりました。畑作においては、

日頃の皆様方のご努力により日照不足、あるいは一時的な天候不順がありました。小麦においては7.6俵、小豆においては小粒傾向にはなり

ましたが全品目が総じて平年作といった状況でありました。令和2年度の当農協の事業におきまして、信用部門では引き続き第9次農業振興計画の目標達成に向け、農業経営拡大化資金の利子助成を実施いたしました。また、購買事業

では組織購買の取組への拡充や環境保全の取組への奨励対策、農機車両では引き続き車検台数1000台を突破いたしました。後継者対策においては、第2期農業塾として農業経営塾を開講し、経営者としての多角的な知識習得を目的とした講義を実施いたしました。総合管理部門では、災害時対応実践としてコロナ禍における職場環境対策を講じたほか、対応指針の周知等、

感染防止対策を実施いたしました。このような中、本年の取扱高が過去最高となる151億1515万円となりましたのはひとえに組合員の皆様の日々のご努力、関係者各位のご努力の賜物と感じ、深く感謝申し上げます。」と開会挨拶。

議長に金曾浩文さん(開進農事組合)、渡部亨規さん(萌和農事組合)を選出し議事に入った。

議案では、事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、事業計画など10議案が審議され、全て原案通り可決された。



議長の渡部亨規さん、金曾浩文さん



総会のようす

農業功労賞 受賞者



日方 森下 信行さん



中島 坂井 正喜さん



中島 香西 英行さん



萌和 村崎 喜一さん



萌和 湯澤 利明さん



振別 角倉 了さん



大和 水野 義博さん



大和 高野 政男さん

各種共励会受賞者

酪農経営改善共励会

◆個人の部

最優秀賞 萌和 戸田 繁樹
優秀賞 下大樹 三木 隆志
" 開進 榑北守牧場
" 中島 小林 孝行

◆奨励賞の部

特別改善奨励賞

歴舟 関 隼人

無脂固形量奨励賞

萌和 榑湯澤牧場

乳牛生産能力改良共励会

◆個人の部

最優秀賞 開進 榑北守牧場
優秀賞 下大樹 三木 隆志
" 中島 小林 孝行
" 芽武 前田 竜志
" 開進 建木 洋典

乳質改善共励会

◆個人の部

最優秀賞 上大樹 (有)太田牧場
優秀賞 日方 西川 重穂
" 開進 (有)藤原牧場
" 美成 小島 幸康
" 振別 山下 善一
" 萌和 榑湯澤牧場

◆団体の部

最優秀賞 萌和 萌和酪農部会

和牛経営改善共励会

◆繁殖素牛部門

最優秀賞 拓北 柚原 基晴

◆肥育販売部門

最優秀賞 日方 榑サンエイ牧場

畑作物多収穫共励会

◆てん菜

最優秀賞 拓進 白石 慎一

◆秋播小麦

最優秀賞 拓進 鈴木 和昭

◆馬鈴しょ

【加工の部】

最優秀賞 萌和 遠藤 慎也

【澱原の部・生食の部】

該当者なし

◆豆類

(1)大豆

該当者なし

(2)小豆

奨励賞 豊里 小形 信之

(3)大豆亡

該当者なし

◆加工スイーツコーン

該当者なし

◆園芸作物

だいこん

該当者なし

青年部

5作物を作付

—11年目となる食育事業が始動—

5月12日、大樹小学校農園場において、小学校3年生の児童を対象に食育事業を行った。

この事業は今年で11年目を迎え、種まきから成長過程の観察、収穫体験を通して「食」と「農」の大切さや農業の魅力を理解し、農業に興味を持ってもらうために年4回ほど行なっている。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で小学校が臨時休校となり、青年部8名と小学校の教員5名で畑作りと播種作業を行なったが、今年度は児童も参加し、播種作業を一緒

に行うことができた。

部員の協力のもと、児童たちは、キャベツ、ポッココーン用とうもろこし、じゃがいも（メークイン、トヨシロ、ピルカ、シャドークイーン）、ミニトマト、大豆（黒大豆、茶豆、白毛）を播種した。

高松部長は播種する際の注意点や品種の違いを説明し、児童たちは色の違うじゃがいもや普段目にするのではないキャベツの種などに関心を寄せていた。

今後は成長具合を見ながらの栽培管理、収穫を行う予定となっている。



高松部長の説明



マルチ張りのようす



児童による種まきのようす

青年部

花壇整備

J A青年部（高松佑樹部長）では5月27日にJ A女性部（辻本薫部長）が行う花壇整備に先立ち、5月12日に役員4名が参加し、農協周辺の花壇を耕運機などを用いて、土起こしを行なった。



土起こしのようす



青年部

Chai取材

5月12日、J A大樹町青年部（高松佑樹部長）は十勝のフリーマガジン「Chai」の取材に高松部長ほか部員3名が対応した。

取材のきっかけとなったのは前年度の青年部活性化事業にて製造したビールについて。高松部長がビールの製造に組むきっかけやビールの特徴、コンセプトや原料などを説明し、最後に写真撮影を行い終了した。

この記事は6月28日発行の「Chai 7月号」にて掲載予定。



ビールを持って撮影



カロリングのようす



魚釣りのようす

女性部

エルダー定例交流会

J A女性部（辻本薫部長）

エルダーミセスでは、5月7日、J A会議室において健康増進と親睦の交流を目的に室内ゲーム「カロリング」・「お魚釣り」を行なった。ゲームは大樹町社会福祉協議会より借りた物で、参加者達には馴染みのあるゲームである。「カロリング」では、特別ルールを設け赤的が3点、黄的が2点、青的が1点とし、個人

戦で6回投げて得点を競った。

一番点数が多かったのは、鈴木真知子さん（日方支部）だった。「お魚釣り」では、魚や貝のイラストに洗濯バサミを加工した物が取り付けられてあり、フックの付いた竿で釣り上げるゲーム。ペアを組み、制限時間30秒で何匹釣り上げられるかを競った。約2時間程度ゲームに熱中し、参加者は汗を流した。

女性部

すずらん会

顔合わせ会

J A女性部す

ずらん会（穀内

美希会長）は、

5月14日、J A

会議室において

親睦の交流を目

的に「顔合わせ

会」を開催した。



参加者のみなさん

新役員の挨拶で始まり、年間活動内容を確認した。7月に予定していたヤンマーアグリジャパン主催のトラクター操作研修は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止とした。コロナ禍でも出来る活動はないか部員同士で意見を出し合い、お家時間が続く中、運動不足となっているため健康増進を目的に「軽い運動」を7月に行うこととした。また、

J A女性部すずらん会では新規部員を随時募集している。同世代（20歳〜40歳くらい）の女性の集まりのため、子育ての相談や、大樹町に嫁いだ者同士の意見交換の場ともなっている。加入に興味のある方は事務局（企画管理課）へ問い合わせいただきたい。

女性部

花壇整備

J A女性部（辻本薫部長）では、昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、役員6名で農協周辺の花壇に花を植えた。

例年、色とりどりの花を植えていたが今年はマリゴールド1種類、オレンジのみを短時間で植えた。1種類のみだが、秋まで楽しめる。

J A青年部（高松佑樹部長）は花植えに先立ち5月12日に耕運機などを用いて土起こしを行い肥料などを加え、花壇整備に協力した。



花を植える女性部役員



オレンジのマリゴールド

ベトナム人技能実習生

広尾警察署防犯講話開催

5月12日、J A大樹町（坂井正喜組合長）はJ A会議室において、町内の農場で働くベトナム人技能実習生を対象に、日本の法律やルールを再確認してもらう目的として犯罪講話を行なった。当初は、12日、19日の2日間の開催予定だったが、19日は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言を受けて中止とした。

開会にあたり、坂井組合長はベトナム技能実習生にむけ「大樹町の酪農振興に欠かせない貴重な人材となっており、皆さんの働きに大変感謝申し上げます。大樹町のために良い関係を築く上でも、本日は、日本のルールをしっかりと研修して下さい。」とあいさつ。

講師に、広尾警察署より地域係長、刑事係長、警備係長の3名を迎え、スライドを使いながらの講話となった。地域係長よりベトナム語でのあいさつ。受講生は母国語でのあいさつにより緊張がほぐれ会場が和んだ。講話はゆっくり日本語で行

受講するベトナム技能実習生

い、通訳としてリンク・パートナー事業協同組合のグエンティアンホアさんが務めた。

最後に、ベトナム人技能実習生受入れ農家連絡協議会（西川久雄会長）より「技能実習生が大樹町にいる目的に沿って3年間を過ごしていただきたい。賭博やギャンブルをするために来ているものではありません。賭け事や、お金の貸し借りも禁じられているので、しっかりと目的意識を持って実習期間を過ごしてください」と述べた。

広尾警察署からのお願い

- 困った時は110番
- 自転車は車道の左端を走行
- 夜間は必ずライトを点灯
- 夜道はひとりで行動しない
- 玄関は施錠、見知らぬ人は入ってはいけない
- 他人に通帳やキャッシュカードを渡さない
- 友達同士のギャンブルも禁止
- ヤミ金や暴力団からお金を借りない
- 放置自転車は勝手に乗らない
- 在留カードは常に携帯する
- 災害マップで避難場所を確認

担い手セクター 全体会議

大樹町農業担い手セクター（坂井正喜理事長）では、4月26日に第1回全体会議が行われた。

坂井理事長のあいさつから始まり、令和2年度の事業報告、収支決算書の内容説明、令和3年度の事業計画（案）、収支予算（案）を守澤センター長が報告した。

最後に穀内和夫副理事長が「コロナ禍で思うような活動はできないがSNS等を活用した新しい活動をし、一人でも多く参加してもらうことによって新規就農、担い手が増え、大樹の農業の発展に関われれば嬉しい」と閉会のあいさつをした。

会議のようす

農耕トラクタ・ 公道走行説明会

4月23日別館事務所にて農耕トラクタの公道走行説明会が行われた。

17名の参加者のなか坂井組合長のあいさつから始まり、農機車両課山下課長より、農作業機を装着・牽引して走行する農耕トラクタの規制緩和についての説明を行なった。

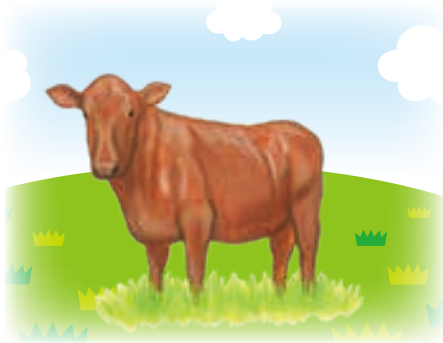
また、直装式・牽引式農作業機におけるチェックポイントや公道走行に必要な資材の価格などを確認し、参加者たちは公道走行の際の重要事項を再確認できるといった機会となった。

説明会のようす

和牛生産改良組合 定期総会（書面議決）

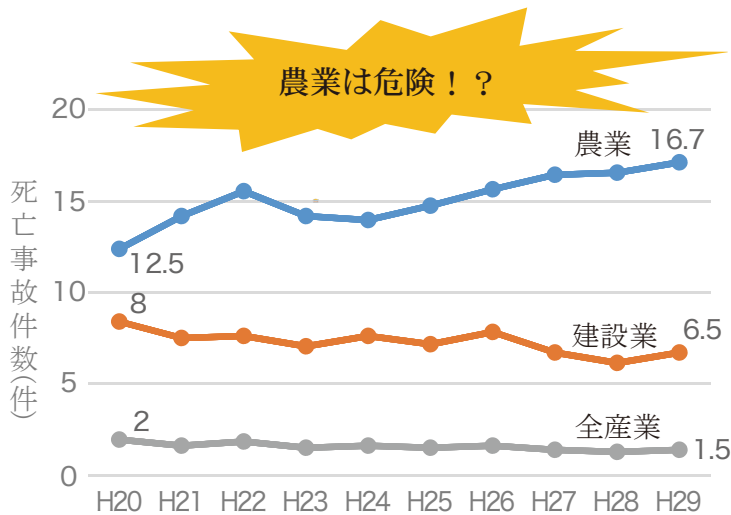
和牛生産改良組合（岡本透組合長）では、4月28日、第43回定期総会を新型コロナウイルスの影響により書面議決にて開催した。

組合員37戸中36戸より書面議決書が提出され、議案第1号令和2年度事業報告並びに収支決算・監査報告について賛成36戸反対0戸、議案第2号令和3年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について賛成36戸反対0戸、議案第3号令和3年度組合費の徴収について賛成36戸反対0戸と3議案全てが原案どおり可決承認された。



十勝農業改良普及センター 十勝南部支所通信

家畜管理時の農作業事故を防ぎましょう！ ～農作業安全対策は生産性向上につながる！？～



他産業では毎朝、ミーティング・体操を行い、ヘルメットや安全靴を装着するなど安全対策が徹底されています。

農業では、対策が進んでいないため、死亡事故件数が増えています

事故に遭うまでは他人事と思っていた。事前に打っておくべき手は、いくらでもあった・・・。



安全対策を「事故防止のため」ととらえると、後回しになりがちですが、
「生産性の向上、労働の効率化」につながります！



根室管内の酪農家15戸を調査した結果から、わかったことをご紹介します

H28根室農業改良普及センター課題解決研修結果より



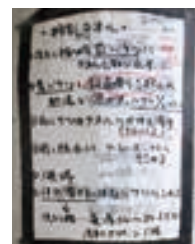
農作業全体の管理が行き届いている牧場は**個体乳量が高い**！



牛の動向が一目瞭然！情報共有

〈調査牧場の管理の視点〉

- ・ 万が一の事故に備える
- ・ 作業全体の見える化、情報共有
- ・ 作業のスケジュール管理



牧場の作業手順を壁に掲示

施設配置・環境管理が適正な牧場は**個体乳量が高く、労働時間が短い**！



低い位置にあるパイプにリボンで注意喚起！

〈調査牧場の管理の視点〉

- ・ 安全第一の意識付けと実践
- ・ 作業動線の効率化検討・実践
- ・ 施設内のコスト意識の醸成
- ・ ミーティングの環境づくり



作業動線上に整然と設置された道具

JAグループ通信

JA北海道中央会



酪農学園大学とJA北海道中央会は、4月15日に調印式を行い、相互連携協力を推進する協定を締結いたしました。この協定は、学生と生産者の学外農場実習に係る事業連携・協力を行うことで、教育と農作業支援の両立を図り、ひいては学術の振興及び農業の発展並びに地域社会の活性化に資することを目的としています。

具体的な取り組み内容としては、酪農学園大学が実施する学外農場実習について、JAグループ北海道が実習先の農場を紹介する予定としており、これによって、100名以上の学生が学業と農業を並行して経験する「パラレルノーカー」にチャレンジすることにもつながります。また、酪農学園大学がこれまでの研究で得た環境分野・酪農畜産分野・循環農学分野に関する知識や技術を活用し、スマート農業の普及についても協力して取り組みます。



JA北海道信連



JAバンクでは、次世代を担う子供たちに向けた食農教育への支援として、補助教材本「農業とわたしたちの暮らし」、および教材本の理解をより深めるためのDVDを作成し、全道の小学校・特別支援学校に贈呈する「JAバンク食農教育応援事業」を毎年実施しています。令和3年度においても、北海道教育委員会等のご理解、ご協力のもと、全道1,020校の小学5年生（約4万人）、18校の特別支援学校へ、道内各地のJAを通じて教材本等の贈呈を行いました。



JA共済連北海道



JA共済では、『「医療共済メディフル」資料請求キャンペーン』を実施しております。JA共済ホームページから「医療共済メディフル」の資料をご請求いただいた方に、有村架純さん・浜辺美波さんが表紙の「オリジナルA5ノート」をもちろんプレゼントしております。キャンペーン第1期は令和3年9月30日（木）までです。

この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお願いしております！



JA共済ホームページアドレス
<https://www.ja-kyosai.or.jp/>

ホクレン



ホクレンはこのほど、社会貢献活動の一環として、北海道日本ハムファイターズと共同で、札幌市内の児童養護4施設の子どもたちに、公式戦のチケットなどをプレゼントしました。贈呈セレモニーでは、ホクレンの箱石文祥専務がチケットの目録を、またファイターズのマスコットキャラクターのB・Bが、田中賢介スペシャルアドバイザーの直筆メッセージ付きサイン色紙やファイターズグッズを児童・生徒代表に手渡しました。



JA北海道厚生連



北海道厚生連本部のオフィスでは、今年度よりJAで生産されたお花を飾っております。

彩りあざやかなお花があると雰囲気が華やぎ、活力が湧いてきます。

綺麗なお花は生産者さまの苦勞によって在るものという感謝を忘れずに、日々業務に励んでまいります。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。

AGRIACTION!

HOKKAIDO



職員紹介

今月は金融部経営相談課をご紹介します。



上段左より 以頭課長補佐・川原課長・若宮課長補佐
下段左より 角田・池内部長・赤川

理事会の動き

第5回 5/28

★報告事項

- 1 令和2年度ホクレン乳用牛居住環境向上支援事業の実施結果について
- 2 令和3年度多面的機能支払交付金事業の実施について
- 3 十勝酪農畜産対策協議会第1回全体委員会の報告について
- 4 農作物生育状況定期調査結果について
- 5 資金の貸付について
- 6 組合員の異動について
- 7 多目的集乳車格納庫及び洗車場の入札結果について

酬について

協議・承認

- 第3号 退任理事に対する役員退職慰労金の支給について

協議・承認

- 第4号 令和2年度業務報告書の行政庁提出について

協議・承認

- 第5号 固定資産の取得について

協議・承認

- 第6号 フィンテック(FinTech)企業等との連携及び協働に係る方針の改正について

協議・承認

★協議事項

- 第1 農協懇談会の意見集約について

協議

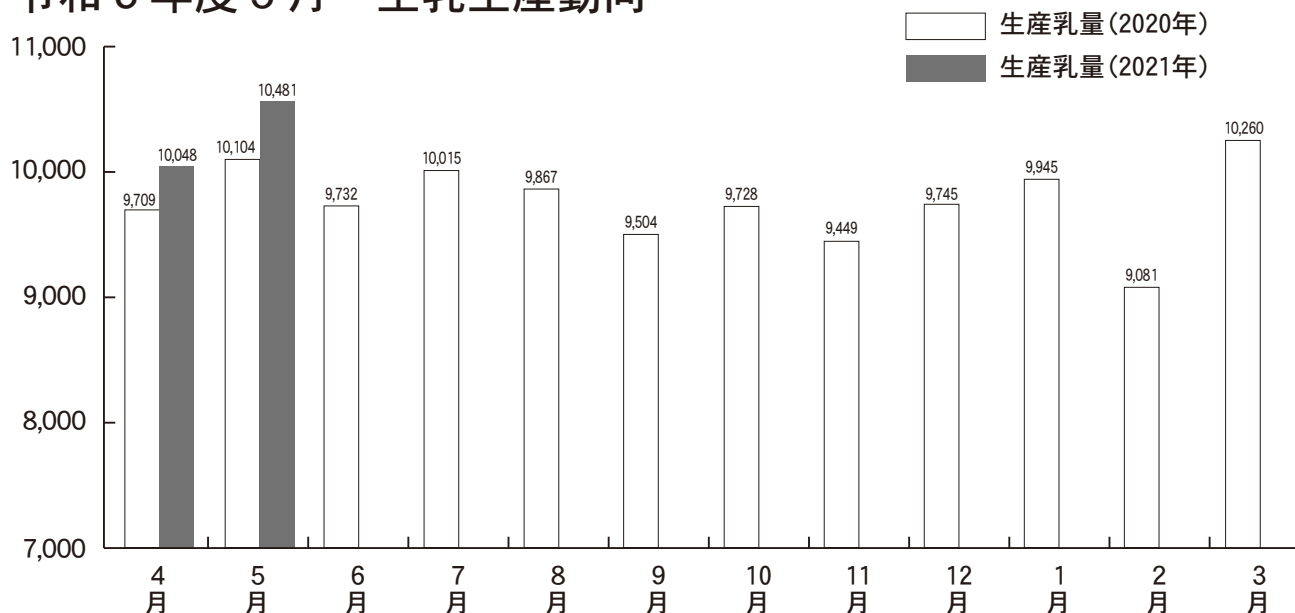
★付議事項

- 第1号 理事の順位の決定について

協議・承認

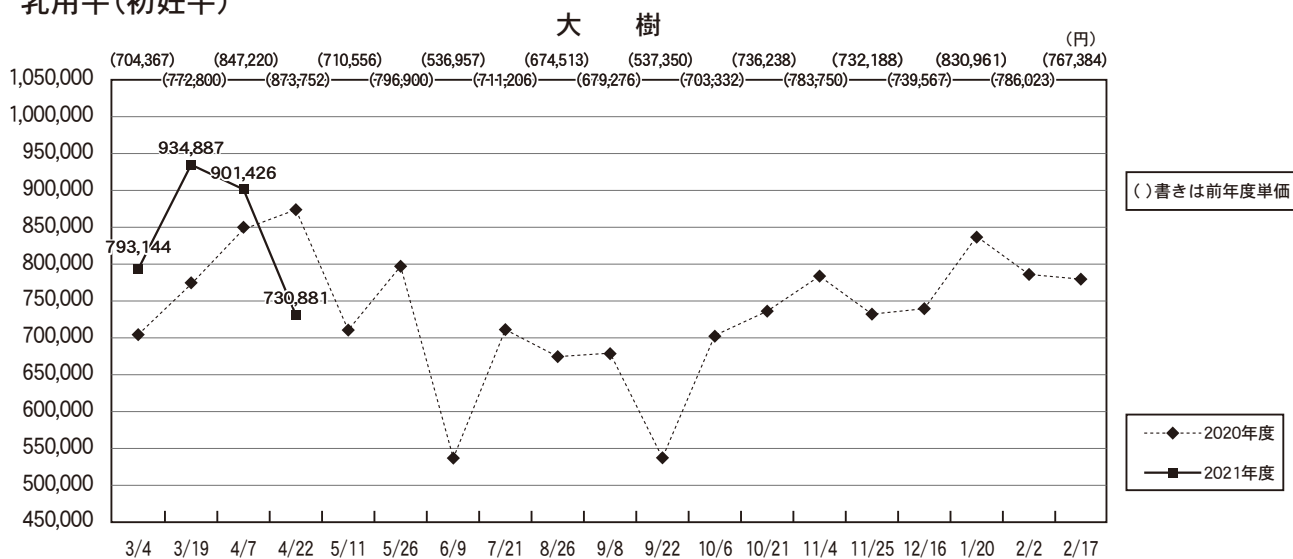
- 第2号 令和3年度理事の報

令和3年度5月 生乳生産動向

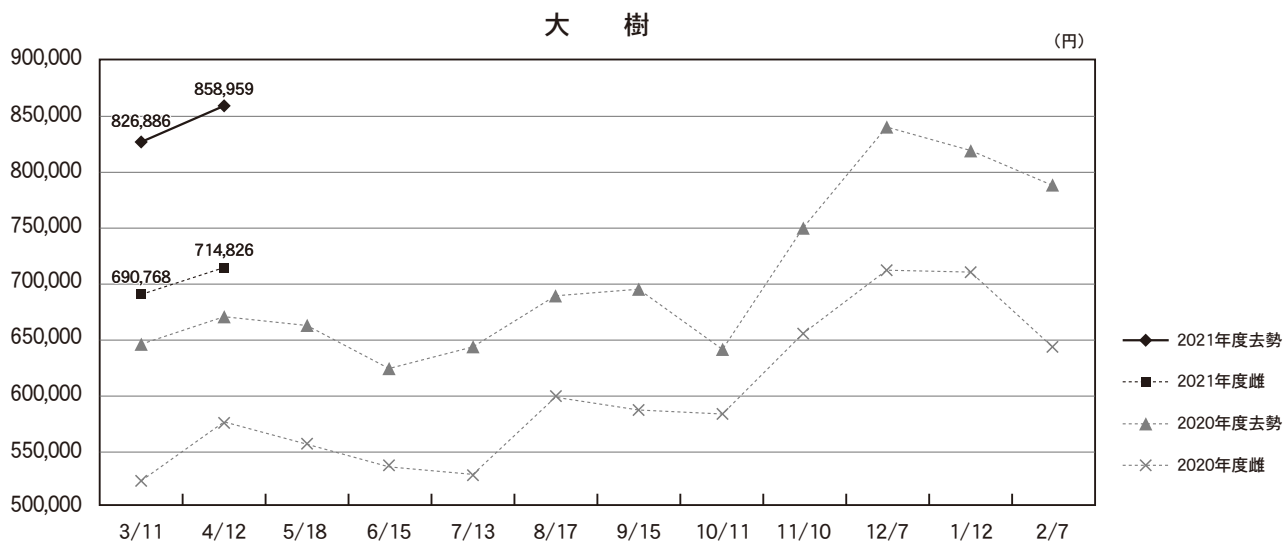


家畜市場の成績

乳用牛(初妊牛)



肉用牛(黒毛和種)



正解者10名に大樹TMOカードが当たる

頭の体操

クロスワードパズル

クロスワードパズル

タテのカギ

- ① 仙人が食べているというもの
 ③ 学校を出て家まで帰ること
 ⑥ 年齢を数えるときに使う言葉
 ⑦ ラジオから1970 — の曲が流れてきた

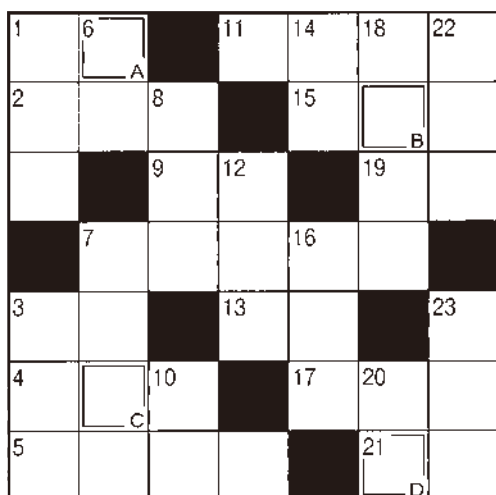
⑧ この虫が作る繭から絹が取れます

⑩ 下から5桁目です

⑫ ものはい——だ、まずやってみよう

⑭ サーフインやヨットを楽しむ場所

⑯ 「やれ打つな蠅（はえ）が手をすり足をする」は小林——の句です。



⑬ 日本髪に挿す飾り

⑮ ゆでたそうめんの水を切るときに使います

⑲ 親同士が兄弟姉妹です

⑳ 将棋に似た西洋のゲーム

ヨコのカギ

① 雨や日光を避けるために差します

② 緑に黒のしまがある果実

③ 増（ぞう）の反対語

④ ヤッホーと叫ぶとヤッホーと返します

⑤ 片目をパチンとつぶります

⑦ キャッツアイとも呼ばれる宝石

⑨ 木材を薄く加工した物

⑪ 一つ目小僧とか小豆洗いとか。

——変化

⑬ 量より重視されることもあります

⑮ 爽やかな香りのするハーブ。

ペパー——

⑰ つば焼きにするとおいしい貝

⑲ 漢字で書くと雑魚。取るに足りないもののこと

㉑ みんな出掛けている状態

6月号の答え

A B C D E
ミ ス タ マ リ
でした。



当選おめでとうございます

当 選 者

(上島) 宮 嶋 寿美子さん
 (開進) 島 田 範 子さん
 (萌和) 米 谷 馨さん
 (萌和) 戸 田 繁 樹さん
 (萌和) 遠 藤 慎 也さん
 (下大樹) 佐々木 弘 子さん
 (下大樹) 三 木 隆 志さん
 (豊里) 佐 藤 アイ子さん
 (尾田) 天 野 千由紀さん
 (相川) 手 塚 優 輝さん

■ 解き方 Ⅱ 普通のクロスワードの要領で全部を解いて下さい。

次にA↓Dの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。

■ 締切り Ⅱ 7月10日(当日消印まで有効)

■ 届 出 Ⅱ 本所企画管理課、生産資材課の専用投書箱へ。

■ とじ込みハガキをお使い下さい。郵送する場合は63円切手をはって下さい。

■ 賞 品 Ⅱ 大樹TMOカード(正解者多数のときは、抽選で10名の方に)

■ 職員とその家族の方はご遠慮下さい。

■ 6月号の応募者は14名で、全員が正解されました。抽選の結果、次の方々が当選しました。

当選した方には大樹TMOカードをお届けいたします。

進めよう! 国消国産

進めよう! 国消国産

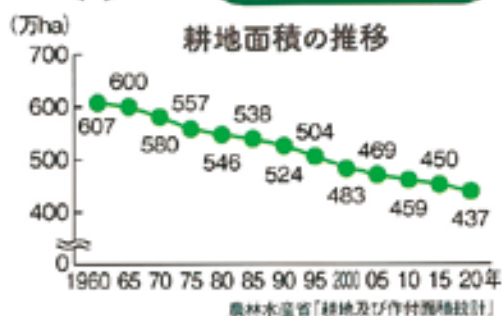
国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産



【今回のテーマ】

農地は
守られているの?

食料の安定供給に欠かせない農地の面積は、60年間で約170万ヘクタール(岩手県の面積より大きい)が減ってしまいました。



MEMO

農地を守り、食料生産を続けるために...

JAグループは新規就農者へのサポートや、農作業の受託などに取り組んでいます。

・新規就農に関する相談窓口担当者を設置するJAの割合

70.0%(2020年度)

・農作業受託に取り組むJAの割合

69.5%(2020年度)

JA全中「JAグループの活動報告書2020」

「昔は一面に稲穂が実る田園風景だったのに、今は雑草が伸び放題になっている…」と思った経験はありませんか? 60年前に607万ヘクタールだった耕地面積は2020年に437万ヘクタールに減りました。

農家の高齢化や担い手不足で管理されなくなった農地は荒れてしまいます。一度荒れた農地からまた農産物を収穫できるようにするには、あらためて、土づくりや水の管理、病害虫対策など、時間をかけなければなりません。農地が減れば、わたしたちの食べるものを作れなくなります。国産食材を選んで食べることが、農地の維持につながります。



耕そう、大地と地域の未来。

イラスト・情報コーナー

イラストは濃くていいに書いて下さい。
(あまり薄いと掲載出来ないことがあります。)



大樹
ひな かちゃん (5歳)



萌和
パークン好き (11歳)



開進
とく名希望